

地縁組織の連携・協働を 目指して①

今回は豊岡ハートネット実行委員会の取組みを紹介します

豊岡ハートネット実行委員会は、豊岡地区社会福祉協議会の事業である「安心見守り事業推進会議」の研修会における地域の福祉事業所との意見交換会を経て設立された、豊岡地域の福祉課題等を絞り込み、自分たちで何ができるのかを話し合う会です。

地域の身近な地縁組織等（地区社会福祉協議会・市民委員会・地区民生委員児童委員協議会・豊岡地域包括支援センター・生活支援コーディネーターなど）が集まり、具体的な課題について検討し、解決に向け取り組むことを目指しており、コロナ禍で活動の制約を大きく受けている現在も、話し合いを重ねています。

令和元年には、福祉事業所との連携を目的として、地域住民向けに介護老人保健施設フェニックスの見学会を実施し、また、認知症の理解を深める研修会を行いました。現在は、地域の皆さんが希望する情報を提供するための「出前講座」の準備を進めています。



認知症講座「認知症について学ぼう！」



介護老人保健施設フェニックスの施設見学会

豊岡ハートネット実行委員会に参加する 生活支援コーディネーターから



生活支援コーディネーターは、安心して住みやすい地域を目指し、地域住民や高齢者支援の関係団体と連携して、支えあい活動や生活支援の充実を図ることを目的に配置されています。社会福祉協議会の生活支援コーディネーターが担う役割の一つに、「第2層協議体の運営」があります。

協議体には、市（長寿社会課）の生活支援コーディネーターが開催・運営し、全市的な生活課題について意見交換をする第1層協議体もありますが、社会福祉協議会の生活支援コーディネーターは、複数の地域包括支援センターの圏域をおおむねの対象として、地域の生活課題や活動について

意見交換をする第2層協議体の開催・運営を担っています。

生活支援コーディネーターでは、豊岡ハートネット実行委員会を豊岡圏域における第2層協議体として位置付けており、実行委員が主体となり意見交換や活動を進めていけるよう、地域包括支援センターと連携して開催・運営をしています。

実行委員会では、見守りなどの高齢者支援を行う住民組織や福祉事業所とともに、「豊岡がより住みやすい地域となるために自分たちができること」の実現に向けて、それぞれの想いを共有しながら意見交換を実施しています。豊岡圏域における支えあい活動の更なる広がりを目指し、今後も地域の課題や地域の支えとなる人・活動等の把握や情報発信に努めます。

図書カードをプレゼント!!

「社協あさひかわ」に関するご意見やご感想をお待ちしています。ご意見・ご感想をお寄せいただいた方の中から抽選で、3人の方に1,000円分の図書カードをプレゼントします。なお、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

【応募方法】はがき・FAX・メールにて

【必要事項】①ご意見・ご感想 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号

【応募締切】令和3年10月29日(金)まで(当日消印有効)

【応募先】旭川市社会福祉協議会の5条事務所(右ページ参照)まで

※ご意見・ご感想で得た個人情報は、プレゼントの抽選及び発送以外に使用しません。

70周年
Anniversary



令和3年10月
(No.199)

社協 はじまりは あなたの笑顔から あさひかわ

ご意見・ご質問を募集
しています!「旭川市
社会福祉協議会」まで

社会福祉法人 旭川市社会福祉協議会

<http://www.asahikawa-shakyo.or.jp>

【5条事務所】〒070-0035 旭川市5条通4丁目 旭川市ときわ市民ホール1階

TEL 23-0742 / FAX 23-0746 Eメール chiikikyosei@asahikawa-shakyo.or.jp

【神楽事務所】〒070-8003 旭川市神楽3条4丁目1-18 TEL 60-1755 / FAX 60-1790



このページは、
赤い羽根共同募金の
助成を受けています

共同募金運動期間
10月1日～12月31日



地区社協ってなに?

地区社会福祉協議会の略称で、地域住民や町内会・市民委員会・地区民生委員児童委員協議会などが協力して、支えあいにより地域におけるさまざまな福祉課題に取り組む住民主体の福祉活動団体のことです。48の地区社協で安心見守り活動が実施され、41の地区社協で88のふれあいサロン(日常生活型)などが開催されています。(令和2年度実績)

市内にある53の地区社協の中から 豊岡地区社会福祉協議会を紹介します

豊岡地区社協は、平成6年3月に豊岡地区市民委員会の福祉部会から分離する形で発足し、地域の中でつながりを絶やさないための活動を中心に、さまざまな事業に取り組んでいます。

地区社協が発足した当時から地域住民の高齢化について議論し、日々の話し合いの中で、77歳以上でひとり暮らしの地区社協住民会員の方を対象に、年末にお土産を持って訪問する「歳末ふれあい訪問事業」が生まれました。この活動は現在も続いています。



地域と連携したふれあいサロン

豊岡地区社協では、福祉事業所との連携(サロンあさがお)と、個人宅を活用(みんなの部屋)した二つのふれあいサロンを展開しています。「サロンあさがお」では、送迎用バスの運行を行い、多くの地域の皆さんにご利用いただきました。「みんなの部屋」では、豊岡地域包括支援センターの協力を受けて、健康相談等も行っています。

現在は新型コロナウイルス感染症の影響で開催していませんが、参加している皆さんの健康増進や交流する機会の確保を考え、できるだけ早く再開できることを願っています。



豊岡地区社協 瀧本会長からのメッセージ

豊岡地区社協では、高齢者やひとり暮らしの方への「安心見守り事業」、地域住民の交流を目的とした「ふれあいサロン事業」、年末には「歳末ふれあい訪問事業」等を、地域の協力を受けて行っています。さまざまな組織で担い手不足が顕著となっており、継続が難しい時代を迎えています。新型コロナウイルス感染症によって、皆さんの生活だけでなく、地区社協の活動も影響を受けており、新しい活動の様式が求められる時代と言えます。地域の方々の応援を得ながら、皆さんに求められる地区社協を目指してまいります。

